

模擬国連練習会

平成30年3月21日（祝）模擬国連練習会を開催しました。
北須磨高校はキューバの代表として参加しました。
公式発表は英語でのスピーチなのでかなり悪戦苦闘していましたが
午前午後と休憩もなく参加者全員で議論しあい、意見を闘わせた結果
互いの健闘を讃える中、仲間意識も芽生え大変良い経験となりました。

神戸新聞 2018年(平成30年)3月29日 木曜日

核兵器禁止 中高生が討議 3府県から8校参加

「核兵器禁止条約」をテーマに活発な議論を交わした模擬国連練習会議論―北須磨高校



北須磨高で模擬国連練習会議論
中高校生が各国の大使役を務め、国際問題を討議する模擬国連練習会議論がこの

成の面からも最近は大中学生から中高校生へとその野が広がってきている。
この日は兵庫、大阪、奈良の3府県から8校約30人が参加した。兵庫は北須磨高校、神戸大付属中等教育学校、灘中・高校、神戸女学院(中学部・高等学部)。
全体討議ではアメリカ、イギリス、北朝鮮、サウジアラビアなど22カ国の大使役に分かれ、昨年成立した「核兵器禁止条約」をテーマに活発な議論を交わした。

生徒らは、担当国の抱える状況を事前にリサーチ。内戦をしている国、軍隊を持たない国、すでに核を保有している国など、それぞれの国の立場を踏まえ、取り扱いについてのルール作りを考えた。自国の意見を



述べるスピーチは大半を英語でこなし。
その後、核保有国とそれ以外に分かれグループ討議。「抑止力としての核保有を納得してもらおう」将来的には両者とも廃絶の総意が不可欠」など、さまざまな意見が飛び交った。
議長役の灘高2年の柳津聡さんは「初参加も多中、中身のある議論ができた」。フランス大使役となった神戸大付属の西田有希さんは「フランスは情報も集めやすく、やりがいがあった。英語は得意ではないけれど、この体験を次に活かしたい」と話した。
(鈴木久仁子)